

32 延焼拡大・避難状況

【関連章第9章】

事例 「インターネットカフェから出火し、50人以上が避難した火災」

出火時分 7月 6時ごろ

用途等 複合用途（飲食店・ネットカフェ等） 耐火造 9/2 延 6,000 m²

防火管理 該当選任あり 消防計画あり

被害状況 建物部分焼 1棟 2 m²、外壁若干等焼損

概要

この火災は、複合用途建物5階インターネットカフェの客席に設置された蛍光灯から出火したものです。

出火原因は、蛍光灯安定器が経年により絶縁劣化したため、安定器内部の巻線で層間短絡し、発熱したことで周囲の可燃物に着火し出火したものです。

出火建物付近を通行していた消防団員が5階の窓から炎が出ているのを発見したため、すぐに自身の携帯電話で119番通報を実施しています。

インターネットカフェの従業員は利用客から「煙が出ている」と知らされ、利用客23名を避難誘導後、建物に設置してある粉末消火器を使用し初期消火を実施しましたが、消し切れずに避難しました。

なお、この火災で、インターネットカフェの利用客を含む計52名が屋内階段を利用し避難しています。

教訓等

この火災は、客席に設置された蛍光灯の安定器が経年により劣化し出火しています。

出火したインターネットカフェには防火管理者が選任されており、消防計画も作成されていました。自衛消防訓練も定期的の実施されており、出火時も訓練通り避難誘導が迅速に行われています。

不特定多数の客が利用する施設では、発見が遅れたり、延焼拡大した場合、被害が甚大となる可能性があります。建物を安全に利用するためにも、建物関係者は防火管理体制に万全を期し、定期的に訓練を実施することで、万が一の際には、被害を最小限に止めるべく、効果的な初期消火、避難誘導が行えるよう知識や技術を身につけましょう。



写真 32-1 焼損した客席状況



写真 32-2 蛍光灯付近の状況